

第 22 回定期演奏会団内アンケート（現スタッフ用）

1. 演奏会の構成など、全体について

- 全体的に◎。ちょっと攻めすぎたかな？と思ったけど皆のおかげで良い感じに仕上がってよかったです。（総括）
- 大変満足。土曜開催で練習時間の無い中でも全員で集中して作り上げることができた。（指揮）
- ちょっと重たい曲が多かったかな…もう少し吟味できたかなと思います。ホール入り前（音響練@瀬戸など）は色々とバタつくところもあったけど、ホール入りしてからはスムーズに進めていくことができたと思う。（指揮）
- 一部が長かったかな。（副指揮）
- 一部については本当に厳かな雰囲気、空気に飲まれるほどよかった。二部は、見るだけで楽しかった！もう少し演奏を突きつめられればよかった。（副指揮）
- 難しく、長い曲が多かったけど全体として良かったと思う。（演出）
- 特にトラブルなく演奏会が終わってよかった。一部の頭も工夫して扉を閉め人を配置したりとそれぞれの役職がうまく動いていたと思う。（演出）
- 庭の冒頭特にがんばったけど、上手くいって、お客さんの反応もよくて大変満足。全体の構成は春合宿に 25 期で決めたこともあってしっかりした構成にできたと思う。進行としては進行表との誤差もとても小さくて嬉しい。みんなのおかげです。（進行）
- 難易度が高い曲が多かったなあとは思いますが、まとまった構成だったのではないかと思います。（楽譜）
- よかった。（衣装）
- 3部の照明が正反ありの場合、思ったより照明が上手くいかなかった。（照明）
- よかった。まとまりがあった。（渉外）
- とってもよかった。（広報情宣）
- とても楽しい演奏会でした。1部から2部へのステチェンがギリギリだったので、緞帳がおりにいるときは服を着替えてもよいかもしれないと思いました。（編集）
- よかったと思います。（庶務）
- 他の方はスムーズに動いていた印象です。本当にすごい、おつかれさまでした。（庶務）

2. 自分の役職について

- みんなに助けられてなんとかやり遂げました。自分的には結構頑張った。（総括）

- 選曲の難度の高さに苦労した面もあったが、結果として満足いく演奏を披露できた。奏者も楽しそうで大変嬉しい。(指揮)
- 自分の担当した曲が重かったこともあって、他のことにあまり目を向けられず、他人任せになってしまっていた所が多かったと思う。水無月の反省を生かして、連携しあって進められたことはよかったかなと思いました！(指揮)
- 色々な役職の仕事の支えがあって演奏会が成り立っているのもその中心となる曲を受け持っている身としてできるだけ努力はした。(副指揮)
- 不十分が目立つ。指揮しているというよりも、みんながアンサンブルをしているところに棒を合わせている感じがする。もう少し引っ張っていけるような指揮になりたい。(副指揮)
- やることが遅くなってしまい申し訳なかった。(演出)
- 今回キャストのみんながとても頼れるメンバーだったので安心して本番が迎えられた。今年は、演出二人ではっきり役職を分けた。その分、それぞれがしっかり力を入れることができたがお互いの内容が頭に入らなかったのも SP 練振られると困った。今後の課題かな。(演出)
- 進行練はグダグダするけど、何度もやるべきだった。(舞台)
- やることはもっと早くやるべきでした…MC の入退場の時間など細かいテンポ感をもっと少し突き詰めた方がよかったかも。(進行)
- 今回は楽譜の印刷がギリギリになってしまって少し迷惑をかけてしまったことがあったのが少し反省点です。また、水無月、定演共に、楽譜を買いすぎていると思います。お金や、倉庫の収納スペース的に、借りる宛を探して印刷する方法もとる必要があると感じました。(楽譜)
- 全体的に時間をもっと考えて取り組むべきだった。(衣装)
- スコア、パート譜のコピーを早くとっておけばよかった。(照明)
- 体制変更後初年度だったため、改善点多。(渉外)
- 今年からカウントダウンツイートを頑張った！(広報情宣)
- 自分の管轄の仕事で、忘れかけているもの多くて本番一週間前に「うわー、何もやってねえ❗」となりました。(庶務)
- 先輩との連携がとれなかった。当日こんなに自分達の動きが多いと予想できなくて、先輩に迷惑をかけた。(庶務)

3. 他のスタッフについて (順不同)

- ちょっと不安要素がある人もいたけど(笑)確認したらしっかり動いてくれました。
- うまく連携がとれた。スタッフ同士の情報共有をわんとかでうまいことやれたのでよかった。

- 色々な所で色々な人が動いてくれていて、みんながいてこそこの演奏会だったと思います。
- スタッフそれぞれの仕事を忠実にやっていたように思う。
- 去年（水無月）は自分のことで精一杯だったけど、今回改めて照明や衣装、演出と関わってみて、たくさんの方が動いて演奏ができていると思った。
- 頑張ってくれて感謝している。
- 25期は比較的、お互いを信頼しているからか係間の連絡は少ないように思えた。それぞれがしっかりと仕事をするけれど、何かは抜けてしまうとカバーが効かないので適当な情報交換が必要。
- 直前になってドタバタすることも多かったけど、臨機応変に対応してもらえてありがたかった。あと、何度も相談にのってもらえてアドバイスももらえて。
- 他のスタッフとの連携がとてもよくとれていたと思う。今回の演奏会が成功した一番の理由だと思っています。
- 忙しい中それぞれが頑張っていたと思います。
- ゲネでしか本番での照明での練習ができないのもあって、演出さんとの食い違いがあった。曲のカットの連絡が遅かった。（自由舞台との連絡後変更となった。）
- みんなほんとおつかれさま！！
- 本当におつかれさまでした。
- 各々頑張ったと思います…！

4. スタッフ以外の団員について（順不同）

- 声かけしたらしっかり動いてくれます。ただやっぱり私語は目立つかな。
- たまにお喋りしちゃうけど、やるときはしっかりやってくれた。前日夜と、当日だけで成功したのはすごい。水無月みたいなひやっとなかったし。
- パンプの挟み込みとかそれ以外でもみんなが動いてくれてとてもありがたかった。私語が少し多めのところはこれからも全員が気を付けないといけないと思いました。
- 仕事がない分1回1回の練習への取り組みが違う。怒られないから喋りだして止まらなくなりまともになる時がある。
- 次からはしっかりと引っ張っていきますのでついてきて頂けると嬉しいです。
- 協力して楽しんでやってくれたと思う。
- とりあえず、27期は私語が多い。なごすいに関する話で関係ない人なんていないから、合奏中、特に連絡をしっかり聞いて一人一人が責任をもってほしい。そこは「たかがサークル」というのはナンセンスだと思う。
- もう少し話を聞いてもらえると嬉しいです…
- 変更がたくさんあってもしっかりと対応してくれました。演奏会はみんなで作るものだなあ

- 誰かが全体に向けて連絡をしているときにお喋りしてしまう人が時々いたので、なるべく静かに聴けると良いと感じました。
- おつかれー！
- 原稿を提出してくださりありがとうございます。
- くーたん先輩に感謝！！

5. その他意見・感想など

- 来年頑張ってね！
- なごすい好き。
- 演奏会本番に悔いが残るような練習はしてこなかったはずなので、ほとんどの人がやりきれたと思う。
- 倉庫と学館組の溝は最近なくなってきたが感じる。特にフルート。
普段の練習でいなかった人に今日の練習で注意されたところを伝えていないから浸透せず演奏がなーなーになりあるレベルまでしか成長できない。吹奏楽部として演奏に関する連絡は必須だと思う。
- 何かあればその都度報告、相談していたのがよかった。他のスタッフの仕事を知っておくこと、他の役職にも進行の仕事を知ってもらうことが演奏会の成功に繋がったと思う。
- たくさんの人に、来てよかったと言ってもらえる演奏会になってよかったと思います。演奏会スタッフでない人も、定演について意見を言い合える場があってもいいのかもしれないと思いました。おつかれさまでした！！
- 最高！！
- 引き継ぎ資料が紙ではなく、データで受け取れるといいなと思いました。